

令和 7 年 8 月 2 9 日
北海道信用農業協同組合連合会
北ひびき農業協同組合
株式会社日本政策金融公庫札幌支店

担い手不足の解決に向けてスマート農業を導入 ～道内初の「スマート農業資金」の利用～

北海道士別市で農作業の受託業務を行う株式会社 3 M a g i c（代表取締役：宍戸真）はこの度、収量センサや水分センサなどの最新技術を取り入れたコンバインを導入しました。

これに対し、北ひびき農業協同組合（以下、北ひびき農協）、北海道信用農業協同組合連合会（以下、北海道信連）、日本政策金融公庫（以下、日本公庫）札幌支店農林水産事業はスマート農業技術活用促進資金等により、金融支援を行いました。

農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律（以下、スマート農技術活用促進法）に基づく生産方式革新実施計画の認定を受け、「スマート農業技術活用促進資金」を利用するのは道内初となります。

《ポイント》

○ 担い手不足をスマート農業により解決

士別市温根別地区は高齢化が進み、地区内の担い手も減少。1 経営体あたりの経営面積が大きくなっています。各経営体がそれぞれ農作業を行うには限界があるため、作業の効率化を目的として、主要な担い手が 3 M 機械共同利用組合（株式会社 3 M a g i c の前身）を設立。ドローンによる小麦の播種や防除作業を受託し、各経営体の作業の効率化を進めてきました。

このたび、さらなる事業拡大と作業効率化のために法人化し、社名を株式会社 3 M a g i c に変更するとともに、生産方式革新実施計画の認定を受けて高性能コンバインを導入しました。収穫作業は特に作業時間を要する工程ですが、この高性能コンバインを活用することで、作業時間は従来の 3 分の 1 になります。また、コンバインから得られるデータを共有・検討することで、適期の収穫作業や次期作以降の可変施肥につなげることもできます。

○「3Magic」を使って革新を起こしたい

株式会社 3 M a g i c の名前は、「3 つの魔法（assist、generation、connect）を使って世代をつなぎ、実りある未来へ導くことをアシストして、革新を起こしたい」という構成員の想いに由来します。

宍戸代表は、「温根別地区は地域平均よりも単収が低いと言われていたが、皆で集まって作業をするようになってから単収も平均を超えるようになってきた。当社が後継者不足・担い手不足の受け皿となっていきたい」と意気込みを語ります。

北ひびき農協、北海道信連及び日本公庫札幌支店農林水産事業は、今後も連携して北海道の農業者の方々の経営発展、地域活性化に向けた取り組みを積極的に支援していきます。

【導入した高性能コンバイン】



【株式会社3Magicの構成員の方々】



＜お問い合わせ先＞ 北海道信用農業協同組合連合会旭川支所(担当:牧野 十河) Tel:0166-24-1357
〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号
北ひびき農業協同組合本所(担当:宮本 高山) Tel:0165-23-2418
〒095-0021 士別市西1条8丁目701番地1
日本政策金融公庫札幌支店(担当:山田 中島) Tel:011-251-1265
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目2-2 北海道経済センタービル4階